

# シンガポールと広島 交流活動

私たちの交流プログラムで  
延べ625人の学生や先生が  
シンガポールから広島を訪問しています



広島シンガポール協会のシンガポール友好訪問団は、シンガポール・チャイニーズ・ガールズ・スクールでの独立記念行事に参加しました。(2007)

## 広島シンガポール協会

# 広島シンガポール協会 (HSA)

広島シンガポール協会は、シンガポールと広島との間の相互理解を深めることを目的として、平成7年12月に設立されました。

平成21年5月時点で約400人の個人会員と400社の企業会員がいます。広島シンガポール協会は、シンガポール国立大学日本研究学科と国立シンガポールポリテクニク校との学生交流を主たる活動としています。

## 学生交流プログラム

平成7年に広島シンガポール協会が設立されて以来これまでに、625人の学生や教員が、1週間のホームステイや3～4週間の企業体験研修などでシンガポールから広島を訪れています。

(シンガポール広島事務所が平成4年に学生交流を開始した時から数えると746人の学生と教員が広島を訪問。シンガポール広島事務所は、平成3年に設立され平成15年に駐在員派遣中止。)

(シンガポールとの学生交流の実績)

(単位：人)

	シンガポール国立大学 日本研究学科				日本留 学生協会		国立 シンガポールポリテクニク校				合 計	
	ホームステイ		企業研修		三原国際外語学 院日本語留学		ホームステイ		企業研修		当初から の計	H7年12月 広島 シンガポ ール協会 設立以来
	学生	教員	学生	NUS	JUGAS	学生	教員	学生	教員			
H4年	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	4	
H5年	20	-	-	-	-	-	-	-	10	-	30	
H6年	27	-	-	-	-	-	24	1	14	1	67	
H7年	20	-	-	-	-	-	-	-	14	1	35	15
H8年	44	1	-	-	-	-	20	1	12	1	79	79
H9年	21	1	-	-	-	-	19	1	12	-	54	54
H10年	24	1	4	-	-	-	20	1	12	-	62	62
H11年	17	1	5	-	-	-	19	1	8	-	51	51
H12年	19	1	4	-	-	-	20	1	10	-	55	55
H13年	21	1	7	-	-	-	20	1	6	-	56	56
H14年	18	1	7	-	-	-	20	1	3	-	50	50
H15年	19	1	-	-	-	-	SARSで中止		8	-	28	28
H16年	19	1	9	-	-	-	H18～日本語成 績優秀者招待		5	-	34	34
H17年	20	1	8	-	NTU1	-	2		-	-	30	30
H18年	20	1	9	-	-	-	2		-	-	32	32
H19年	19	1	9	-	SP1	-	2+8	1	-	-	41	41
H20年	14	1	8	1	-	-	2+10	1	-	-	37	37
H21年				1							1	1
合計	342	13	70	2	-	-	186	10	118	3	746	625
	427				2		317					

(注) H18からの印は日本語成績優秀者招待

(H21.4.30)

### \*1 企業研修

学生は、広島企業の3-4週間研修します。広島シンガポール協会は、宿舎から研修先企業までの交通費などとして学生一人当たり2万円を支給し、広島信用金庫は自社研修センターの宿泊施設を企業研修の学生たちに提供しています。学生は自分で旅費を負担します。

### \*2 ホームステイ

学生は6-10日間のホームステイを体験します。広島シンガポール協会は、引率教員の交通費と宿泊費を負担します。また、ホームステイ先から集合場所までの交通費の不均衡を調整するため、学生一人当たり1,000円を助成しています。学生は自分で旅費を負担します。

### \*3 日本語成績優秀者招待

国立シンガポールポリテクニク校と広島シンガポール協会は、同校で日本語を学ぶ学生のうちの成績上位2人を広島に招待するプログラムを、平成18年からスタートしました。

### \*4 図書寄贈

広島シンガポール協会は、シンガポール国立大学日本研究学科とシンガポールポリテクニク校に対して、広島に関する図書の寄贈を行っています。両校では、「広島コーナー」を設置してそれらの図書を学生に利用させています。

### \*5 1年間の日本語研修奨学金

三原国際外語学院は、平成17年に同校で1年間日本語を学ぶ奨学金生を受け入れました。学生の選考には、シンガポールの日本留学生協会(JUGAS)の協力を得ました。上記事業の成功を受け、三原国際外語学院と広島シンガポール協会、広島信用金庫が共同で、平成19年度から年間97万円相当の奨学金による1年間の日本語留学制度を開始しました。学生の選考には、平成19年度はシンガポールの日本留学生協会の協力を得、平成20年度からはシンガポール国立大学日本研究学科から推薦を受けています。



# 広島シンガポール協会の活動

## 広島シンガポール協会総会



広島シンガポール協会では毎年 6 月に総会を開催しています。

## 学生との交流会



広島シンガポール協会では、毎年 12 月にシンガポールからの学生との交流会を開催しています。

# 企業体験研修

シンガポールからの学生は、広島に3 - 4週間配属されて、企業体験研修を行います。これまでに協力いただいている企業は次のとおりです。  
(株)リーガロイヤルホテル、(株)広島全日空ホテル、JTB、近畿日本ツーリスト、広島信用金庫、(株)熊平製作所、(株)モルテン、広島ガス(株)、凸版印刷(株)、三菱重工(株)、デルタ工業(株)、(株)ヒロテック、(株)クラタ、中国電力(株)、バブコック日立(株)、復建調査設計(株)、(株)阿部鉄工所、オタフクソース(株)など

初代シンガポール広島事務所長として学生交流を立ち上げた橋本康男氏からのオリエンテーション



モルテンでの企業体験研修





広島信用金庫での窓口サービスの研修



広島信用金庫の若手職員との意見交換会



ホームステイも体験

# ホームステイプログラム

学生は6 - 10日間のホームステイを体験します。これらの期間、日本人の家族と一緒に過ごすことによって、日本人のライフスタイルを直接体験することができます。広島シンガポール協会は、引率教員の交通費と宿泊費を負担します。また、ホームステイ先から集合場所までの交通費の不均衡を調整するために、学生一人当たり1000円を助成しています。学生は自分で旅費を負担します。



引率の先生への旅費の贈呈



ホームステイ先の家族と



お好み焼きづくりの体験



日本の大学生との交流



# 広島シンガポール協会設立 10 周年(2005)

広島シンガポール協会では、平成17年12月14日に、駐日特命全権大使タン・チン・チョン閣下と、協会設立時の大使であられたリム・チン・ベン閣下をお迎えして、10周年の記念式典を開催しました。



シンガポール国立大学の学生からは、お祝いの歌を歌っていただきました。



国立シンガポール・ポリテクニク校のラウ学長からは、ビデオメッセージで祝辞をいただきました。

# シンガポール講演会

広島シンガポール協会では、シンガポールに関する下記のような講演会を開催しています。

	講師	演題
H 8.3.4	橋本 康男 氏	躍動するシンガポールの人と社会
	オン・ベン・ジー 氏	シンガポールの国際化
H 8.5.30	稲田 純一 氏	ガーデンシティシンガポールからのメッセージ
H 9.2.27	田村 慶子 教授	頭脳国家シンガポール 小国の生き残り戦略
H 9.6.3	山下 彰一 教授	アジアの時代・日本の選択
H 10.5.6	田辺 孝二 氏	シンガポールの未来づくり戦略
H 10.6.2	鶴 登美子副校長	シンガポールポリテクニク校の学生との交流について
H 11.3.5	矢延 洋泰 教授	ネイションビルディングに込めた民族混住化
H 12.3.6	丸谷 浩明 氏	都市整備先進国シンガポール
H 12.12.11	ルーカス・ン 氏	産業サービスセンターの活動内容について
H 13.3.6	小竹 裕一 助教授	教育を通して見たシンガポールと日本
H 14.3.7	田辺 孝二 氏	シンガポールのIT戦略
H 14.12.5	杉野 一夫 氏	シンガポールから日本を見て思うこと
H 15.3.7	野元 克彦 氏	シンガポールのバイオ研究
H 16.2.4	パネリスト カクシヨウ 鶴 登美子 氏ほか	シンガポールでの「ビジネスインターナショナル」の体験から - 異文化社会で働くということ
H 17.2.8	西原 大輔 助教授	日本人のシンガポール体験 - 幕末から戦後まで
H 18.3.6	橋本 康男 氏	シンガポールの多様性活力と広島の未来 - 違いを生み出すビジョンと行動力 -
H 19.3.6	チー・フィ・ヨン 氏	シンガポールと日本 - 経済のパートナーシップ
	稲田 純一 氏	将来を覗く - Gardens by the bay
H 20.3.6	ウォン・イティン さん 本庄 佐智子副校長ほか	広島に日本語を学びに来て感じたこと
H 21.3.9	山本 貴之 氏	赤道直下の「先進国」シンガポールの産業と経済



立命館アジア太平洋大学小竹裕一助教授の講演( H 1 3 年 3 月 6 日 )





シンガポール日本人会事務局長杉野一夫氏の講演( H 1 4 年 1 2 月 5 日 )



株式会社ウイン社長(元・シンガポール政府開発省国立公園公団計画開発部部長)稲田純一氏の講演( H 1 9 年 3 月 6 日 )

## 図書寄贈

広島シンガポール協会では、シンガポール国立大学日本研究学科とシンガポール・ポリテクニク校に対して、広島に関する図書の寄贈を行っています。両校では、「広島コーナー」を設置してそれらの図書を学生に利用させています。



広島シンガポール協会の田村会長を団長とする訪問団がシンガポール国立大学日本研究学科を訪問して、広島に関する図書の寄贈をしました。



田村会長が国立シンガポール・ポリテクニク校を訪問して、言語コミュニケーション学部のラム学部長に広島に関する図書の寄贈をしました。



# 1 年間の奨学金プログラム

三原国際外語学院は、平成 17 年に、三原市とシンガポールのバレスティアヒル中学校との中学生交流 10 周年を記念して、独自の奨学金で、シンガポールから日本語を学ぶ学生を 1 年間招待しました。候補者の選考には、シンガポールの日本の大学への留学経験者の会 (JUGAS) の協力を得ました。

上記の事業の成功を踏まえて、三原国際外語学院と広島シンガポール協会では、協力して新たな奨学金制度を平成 19 年から開始しました。

広島シンガポール協会は月 5 万円の奨学金を提供し、三原国際外語学院は、授業料等の約半額を免除しています。平成 20 年度からは、シンガポール国立大学日本研究学科から候補者の推薦をいただいています。これまでの奨学生は、いずれも難関とされる日本語能力試験 1 級に合格しています。

奨学生は、下記のシンガポールとの中学生交流を手伝ってくれています。



奨学生ハジャさんの卒業式でのスピーチ



奨学生ウォンさんと田村会長

## [三原市のシンガポールの中学生交流プログラム]

このプログラムは、広島シンガポール協会の事業ではありませんが、当協会運営委員の橋本康男氏が、シンガポールのバレスティアヒル中学校と三原市の中学生との交流を、平成 8 年から継続して支援しています。相互に訪問団を派遣しており、これまでシンガポールから 118 人が三原市を訪問し、158 人がシンガポールを訪問しています。三原市では、この交流のホームページを作成しています。URL: <http://www.tako.ne.jp/~friends/>





広島は原爆による廃墟から平和都市へと復興しました。その経験の中から、私たちは人材の大切さを学びました。このため、平成3年8月に経済交流の推進を目的としたシンガポール広島事務所を開設した時に、シンガポールとの学生交流を通じて、相互理解を深めるとともに、シンガポールの多様性のバイタリティを学ぼうと考えたのです。